



真保さんの田んぼ



製品のひらたけ

二十四節気 **小雪** しょうせつ わずかながら雪が降り始める頃
遠くの山の山頂に冠雪が見えます

◎◎ 冬期間の農家は何をしている？ ◎◎

秋も終わり、この時期の農家の皆さんは、少しゆっくりと過ごされています。今秋の結果を踏まえて、作付品種をどうするか、またそれぞれの品種の面積をどう割り振るか、来期は今年のような結果にならないよう、どういった栽培をすればよいか等、考えています。

中には、冬期間でも忙しく作業されている農家さんもいらっしゃいます。

新潟市南区の生産者、羽生さんは冬期間ビニールハウスを利用して、大風しめじを栽培しています。しめじと名前がついていますが、大風しめじはヒラタケです。

大風しめじの名前の由来は、「大風合戦」で有名な白根地区で、栽培しているからだそうです。



ハウス内の一斗缶でヒラタケを栽培



出荷前のヒラタケ

ヒラタケは瓶などで栽培するのが、一般的のようですが、南区内の栽培農家では、一斗缶を培地として使用しています。

培地が大きいので、大きく肉厚なヒラタケを作ることができるそうです。ハウスは日光が当たらないように黒いネットで覆い、風が通る環境を作ってあげるのだとか。9月下旬から2月上旬頃まで、手作業で収穫します。生育、収穫、休みを繰り返し、3回～5回ほど収穫できるそうです。

次回の産地通信では、ル・レクチェの出荷作業の様子をご紹介したいと思います。



おもちゃを選ぶ子供たち



クリスマスツリーを飾る



弟に絵本を読み聞かせ

エアコンだけでは、寒さが厳しくなってきたので、ペレットストーブに火入れをして使い始めました。

燃料のペレットを近所のホームセンターに買いに行くのですが、年々値段が上がっている気がします。

ペレットストーブの前はすごく暖かいので、子供たちも気付いたらストーブの前に移動しています。

先週末の休日に長男が弟にストーブの前で絵本を読んであげていました。

保育士の妻は、木のおもちゃが好きで、ドイツ等のヨーロッパのメーカーのおもちゃを収集しています。

先日、子供たちがおもちゃを手に取りやすいように棚を設置しました。

また、あと1か月でクリスマスという事もあり、クリスマスツリーも飾りました。

飾りつけは長男が率先してやってくれました。